

令和6年5月2日

横浜市長
山中 竹春 様

横浜市町内会連合会
会長 網代 宗四郎

「特別市」の実現に向けた取組の推進について

謹啓 新緑の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より地域における諸活動について、ご指導・ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年7月から令和6年2月にかけて、山中竹春市長におかれましては大変お忙しい中、市内全18区にお越しいただき、「横浜市が目指す特別市」について、地域において色々な活動を担っている市民に向けて、分かりやすいご説明と、熱心かつ有意義な意見交換をしていただいたことに、改めて御礼申し上げます。

今回の説明会は、今の状況のどこに課題があるのか、そして横浜市が特別市の法制化を目指している理由を改めて知る機会となりました。

実際に特別市となった場合に起こりうる県内市町村や県への影響、具体的なメリットやデメリット、そして市民にとって直接かかわる税金とそれを基とする財源配分などをより詳しく、より多くの市民にお伝えし、自分達のこととして考えることの必要性を強く感じました。

横浜市においても、少子高齢化・人口減少の局面を迎えています。住みたい、住み続けたい街となるため、各区の個性を一層活かし、市民と市が一体となって住みやすいまちづくりを進めていく重要性が高まっています。

私たちも今回の各区で説明いただいた内容を踏まえ、それぞれの地域で制度の理解の促進に努めてまいります。横浜市においても特別市の選択が可能になるよう、法制化の実現に向け、市民の暮らしがどのように良くなるのかなど、幅広い年齢層の市民の皆さまや、地域の商店街や事業者の皆さまなど、より広く特別市の内容と意義が伝わるよう、各区での説明会の実施や、より参加しやすいシンポジウムの開催、動画等も活用した広報・周知を強力に進め、継続的に機運を醸成し、法制化の実現に向けた取組を進めていただきたいと考えます。

横浜が将来にわたってすべての世代の皆様にとって、住みやすいまちとなるよう、ご一緒に取り組んでまいりましょう。

謹白